

Orca Securityは、Live Oak Bankの革新の推進と、データのプライバシーとセキュリティに関する義務の遵守を促進します。



クラウドセキュリティの課題

- ✗ 可能な限りリアルタイムに近い形でセキュリティ評価を行いたい
- ✗ 開発者の制約やIT部門と対立することなく、クラウド環境を保護する必要がある
- ✗ クラウドセキュリティに関するFDICのコンプライアンス要件を満たす必要がある

クラウドセキュリティの結果

- ✓ 現在では、リスクと脆弱性の完全な可視性をほぼリアルタイムで得ることができる
- ✓ 運用や本番へのアクセスを中断することなく、さらにエージェントをインストールすることなく、DevOpsの手順をサポートできる
- ✓ FDICのガイドラインとクラウドにおけるサイバーセキュリティの将来的な要件を完全にサポートする位置にある

Live Oak Bankの自社開発テクノロジーは大きな差別化要因

Live Oak Bankは、多くの点でほとんどの銀行と異なります。インターネットバンクとしてスタートしたLive Oakは、現在も実店舗を持たずに営業しています。同行は中小企業に焦点をあてており、獣医学診療、薬学、農業、ヘルスケアなど、20以上の特定分野の専門知識を有しています。競合他社とは異なり、Live Oakの銀行家たちは、顧客が顧客自身のビジネスを運営し、成功するのを支援することに深く関わっています。そのパートナーシップアプローチにより、ローンのデフォルト率は1%以下となり、業界平均の3%をはるかに下回っています。

同行は当初からクラウドを取り入れていました。従来のデータセンターベースの銀行プラットフォーム上でビジネスを構築するというのではなくむしろ、Live Oakは独自のソフトウェアを開発しました。同社のテクノロジーの一部を、新しいソフトウェア部門として分社化しました。これらのフィンテック企業の多くは、今もLive Oak Bankと提携して、クラウド内でAPI駆動形コアを構築しています。クラウドテクノロジーは、Live Oakのすべての活動の中心です。

Thomas Hill氏は、6年前にCIOとしてLive Oak Bankに入行しました。同行が成長し、自社開発のテクノロジーポートフォリオが拡大されたとき、ITとセキュリティの役割を分ける必要性が出てきたため、HillはCISOに就任しました。「当行のビジネスは、迅速でリアルタイムでありたい。当行は、光の速さでビジネスを動かし、変化できるようにしたいです、」とHill氏は述べています。「私の仕事は、すべての規制上の制約の範囲内で、安全にそれを行えるようにすることです。」



「Orcaは、5分から10分以内に可視性が得られると言いましたが、『ありえない』と思いました。でも私は間違っていました。彼らは実際にやり遂げ、SideScanningは開発者が行っていることに何の影響もありません。」

Thomas Hill
Live Oak Bank最高情報セキュリティ
責任者

邪魔になることなくDevOpsの力になる

自社でソフトウェアを開発する企業としての伝統を受け継ぎ、DevOpsチームは大胆かつ革新的であることを奨励しています。従来のセキュリティリーダーは、あらゆるステップで、スピードを落としてセキュリティを考慮することを要求することで、DevOpsの妨げになる可能性があります。しかし、Hill氏は開発チームの妨げになることを拒みます。「開発者に制約を与えるのは一番避けたいことです」と彼は述べています。「既存概念にとらわれず、新しいものを生み出してもらいたいの、責任を持って、必要とするものをひねり出すパワーを提供しています。」

「セキュリティ担当者にとって最も重要なことは、適切な環境に適切なコントロールを拡張するためにそこにあるものを知ることです。Orcaは、その完全な可視性を提供してくれるので、どこに焦点をあてるべきかがわかります。」

Thomas Hill
Live Oak Bank最高情報セキュリティ
責任者

Hill氏によると、「昔は、文字通り3ヶ月前のことですが、月に1回は環境をスキャンしていた」ということです。「内心私は、開発者が環境全体を構築、新しいスタックを構築するスクリプトをスピンオフし、テストすることを始めるのではと心配していました。彼らは、1つの設定ミスで、そのすべてをインターネット上に公開してしまうかもしれない。それを検知する必要があるのですが、月に一度のスキャンではできませんでした。リアルタイムで作業をするときは、すべてをリアルタイムで確認する必要があるのです。」

ここでOrcaが動き始めます。「IPアドレスを持ち、アクセス可能で、我々が知っているデバイスだけではなく、環境全体を見ることができるようにしたいのです」とHill氏は述べます。「開発者には革新的な力を提供したいが、運用に影響を与えずにリアルタイムに近い形でスキャンする必要があるため、Orcaは当行にとって素晴らしいソリューションです。」

Orcaは、セキュリティツールボックス内で、いくつかのツールの働きをします

Hill氏のチームは、Orcaを使用してPoCを行い、数日後にはその有用性を実感しました。セキュリティチームに提供される可視性は、他のツールが提供できるものとは異なります。デバイスにエージェントがインストールされている場合でも同様です。「私は、どのような運用や生産現場へのアクセスも中断させないよう、オフラインのやり方でクラウド全体の可視性を得ることの重要性を軽視することはできません。OrcaのSideScanning™方法は、本当に革新的です」とHill氏は述べています。「当社のITグループとの摩擦がなくなりました。」

Live Oakは、業界をリードする従来の脆弱性スキャナーをクラウド評価に使用していました。Hill氏は、Orcaは面倒なエージェントを必要とせず、クラウドアセットをスキャンする以上に完全な仕事をするをわかっています。「エージェントベースのツールを実行するベストプラクティスは、月1回です。私はスキャンの間隔をそんなに長くすることは気が進まない。」とHill氏は述べています。Orcaを使用すれば、本番に影響を与えることなく、毎日実行することができます。

Orcaは、金融機関の連邦政府規制へのコンプライアンスを促進

Live Oak Bankには、広大なAWSのエステートがあります。Hill氏によると、12以上の組織があり、それぞれが独自のAWSのミニデータセンターです。さらに、銀行には、AWSとAzureの両方を使用するフィンテックパートナーがあり、Live Oakのシステムが相互に接続しています。

特許銀行として、Live Oakは、データのプライバシーとセキュリティの規制を遵守する必要があります。ここでは、FDICは連邦金融機関審査評議会 (FFIEC) のメンバーとして、金融サービス分野におけるクラウドコンピューティングサービスの利用とセキュリティリスク管理の原則について述

べた声明を発表しました。「FDICの声明書簡は、今日の単なるガイダンスですが、近いうちに要件になると考えています」とHill氏は述べています。「Orcaは、銀行として非常に重要であるクラウド環境のセキュリティ状態を伝えるのに役立ちます。当行の企業リスクグループは、このニーズを満たすためにOrcaのようなツールを所有することが非常に有益であると考えています。」

財務データを管理する規制要件により、Live OakはOrca Podと呼ばれるOrca SecurityのハイブリッドSaaSバージョンを使用しています。これにより銀行は、Orcaにメタデータだけを転送するだけで、独自の環境にデータを保持できます。



Orca Securityについて

Orca Securityは、特許出願中のSideScanning™テクノロジーを活用し、AWS、Azure、GCP向けにクラウド全体のワークロードのディープなセキュリティとコンプライアンスを提供します。クラウドプロバイダへ読み取り専用及び影響のない統合を瞬時に行った後、Orca Securityは脆弱性、マルウェア、設定の誤り、横方向の動きのリスク、認証のリスク、安全ではない高リスクデータを検出し、エージェントをデプロイせずに根本的な問題、アクセス可能性、プラスト半径に基づいてリスクを優先させます。



最初のクラウドアカウントに数分で接続し、
ご自身の目でお確かめください: orca.securityを見る

